

学会発表

(*は、財団研究員；**は、客員研究員)

第18回日本応用老年学会大会(2023/10/28-29：大阪大学)

①安順姫*, 佐々木晶世*, 石橋智昭*「在宅要介護者の抑うつ状態 その1：アセスメントデータによる実態」

【発表要旨】軽度要介護高齢者においても抑うつ状態を呈している人がおり、特に、抑うつ状態は認知機能と関連することが示され、在宅介護を継続するためには、認知機能のみならず、抑うつ状態にも着目した支援が必要であるとする。

②佐々木晶世*, 安順姫*, 石橋智昭*「在宅要介護者の抑うつ状態 その2：家族介護者のストレスとの関連」

【発表要旨】在宅要介護者の抑うつ状態と家族介護者のストレスとの関連を検討し、介護者のストレスは要介護者の性別と認知機能で調整しても、うつに関する問題を抱えていることが強く影響することが示された。

③上原桃美*, 石橋智昭*, 鶴岡哲也「COVID-19に感染した入居者の施設内療養が非感染入居者の日常生活に与える制約」

【発表要旨】感染者が多発する施設では非感染の入居者にも様々な制約(日常活動の制限/入浴機会の損失/精神状況の不安定化/食事時間の変更)が生じていた。ADL低下には発生頻度に幅があり、各施設の取組の差異が示唆された。

④澤岡詩野*, 渡邊大輔, 中村一朗「二層生活支援コーディネーターの抱える課題とは?：第二回SCカフェにおけるグループインタビュー調査から」

【発表要旨】地域包括ケアシステムのキーパーソンとなる生活支援コーディネーターが抱える課題や不安を整理し、解決にむけてコーディネーター自身が行っている工夫について報告を行った。

⑤石橋智昭*. 公開講座「殻を破るジェロントロジー」に座長として登壇

第82回日本公衆衛生学会総会(2023/10/31-11/2：つくば国際会議場)

①佐々木晶世*, 石橋智昭*「介護期間と介護者ストレスとの関連～アセスメントデータを活用して」

【発表要旨】介護者ストレスに影響する要因として、要介護者の機能低下のみならず、要介護者自身や家族が施設入所などを望むことが最も介護者ストレスに影響し、介護期間は影響しなかった。

②中村(上原)桃美*, 中村正人「高齢者福祉施設における災害時相互応援協定の締結実態：都内施設への調査から」

【発表要旨】都内施設の災害時相互応援協定の締結状況は概ね良好であった。しかし、締結内容のほとんどが介護に関する限られた内容であった点や協定先が同地域に限られていた点等内容の充実化と広域的な連携作りが課題である。

③安順姫*, 新野直明, 岩田明子*「地域在住高齢者を対象とした在宅型こころの健康増進プログラムの取り組み」

【発表要旨】はがきと電話での支援を行うことで、自宅でのこころの健康増進プログラムを継続できる可能性が示された。特に、コロナ禍で、「友人・知人に連絡をとる」のような能動的な行動を促したことは大変意義があるとする。

第32回日本健康医学会総会(2023/11/11：関西大学)

佐々木晶世*, 齋藤京子**, 叶谷由佳, 稲森正彦「地域在住高齢者の健康状態とウェアラブル端末で評価した睡眠・活動データとの関連：性差に着目して」

【発表要旨】地域在住高齢者の健康状態とウェアラブル端末で評価した睡眠・活動データとの関連では、男性において、生活機能が保たれているほど、身体活動時間と体動あり時間が長かった。

論文発表

(*は、財団研究員)

①佐々木晶世*, 青砥恵美, 叶谷由佳「訪問看護師がホスピス住宅入居者へ実施するアセスメント—看護記録の分析より」日本健康医学会雑誌 32(3)：385-389, 2023

②上原桃美*「高齢者入居施設における利用者のCOVID-19

◆ Dia Information ◆

感染確認後の初動対応—初動完了の迅速性と感染状況の関連—」日本環境感染学会誌 38(6):264-266, 2023

講演など

石橋智昭：

- ①東邦大学看護学部にて「健康政策論」の講師を担当(10/4～11/29、計9回)
- ②「自立支援の取組に対するアウトカム評価」全国老人福祉施設協議会第2回全国老人福祉施設大会・研究会議特別講演(11/30、於：長良川国際会議場)

澤岡詩野：

- ①「社会学：街に『居場所』をつくろう!」さいたまシニアユニバーシティ(10/12、於：中央校キャンパス)
- ②「人生100年時代を長く楽しみ続けるタネマキ?」新座市シルバー人材センターリーダー研修(10/18、於：新座市公会堂)
- ③「グループとグループがつながる意味とは?」洋光台エリア元気づくりステーション交流会(11/6、於：洋光台地域ケアプラザ)
- ④「通いの場や居場所 今こそ求められるチカラを引き出すためには」横浜市泉区地域包括ケアを推進するための人材育成研修(11/7、於：泉区役所)
- ⑤「ヒトと人、場と場がつながる意味とは?~老人クラブが創り出すチカラ~」令和5年度全国老人クラブ連合会高齢者の健康づくり・生活支援セミナー(12/5、於：新霞が関ビル)
- ⑥「活動の輪をひろげるために小さなできるコトとは?~フレイル予防のタネをまく~」令和5年度磯子区フレイル予防人材育成フォローアップ講座(12/10、於：磯子区役所)
- ⑦「老年学から高校生・大学生等へのキャリア教育へ：豊かに歳を重ねるための『百人力』の見つけ方」桐蔭学園溝上理事長の教育関係者向けの動画チャンネル 新著の紹介コーナー『豊かに歳を重ねるための「百人力」の見つけ方』の本のPRと対談(12/11、於：YouTube)
- ⑧「『居場所』創りのタネをまこう!~住民だからできるコトとは?~」江戸川区江戸川総合人生大学(12/4、於：篠崎

文化プラザ)

- ⑨「人生100年時代の『楽しみ方』を考える」朝霞市地域デビュー支援講座(1/27、於：朝霞市産業文化センター)
- ⑩「改めてあなたが活動する意味を考えてみませんか?」横浜市磯子区元気づくりステーション交流会(1/30、於：磯子区役所) ほか多数

佐々木晶世：

- ①横浜市立大学大学院医学研究科看護学専攻博士前期課程「老年看護学特講Ⅱ」の「サクセスセルフエイジング・アクティブエイジングの支援に関する研究動向」(2コマ)の講師を担当(11/20)
- ②かながわ医療機器レギュラトリーサイエンスコンソーシアム第7回全体会議にて講演「しあわせな長寿社会の実現へ向けて—ダイヤ財団紹介—」(11/24)
- ③横浜市立大学医学部看護学科「公衆衛生学」の「成人保健」「環境保健」(2コマ、オンデマンド)の講師を担当(12/11)
- ④千葉県立野田看護専門学校第二看護学科「地域包括ケア演習」の講師を担当(12/22、1/30、各回2コマ)

安順姫：

横浜市下田地域ケアプラザ主催のボランティア向け講座で講演「こころと体の健康づくり」(11/6)

寄稿・取材記事ほか

森義博：

(株)セールス手帖社保険FPS研究所「LA情報」：「簡易生命表とライフプラン—死亡率と生存確率(10月)」、「中高年の結婚とライフプラン—未婚率と有配偶率(11月)、晩婚化と中高年での初婚(12月)、40歳以降に初めて結婚した人の意識(1月)」

その他

【DiaL更新】「社会老年学文献データベース(DiaL)」の第44回更新(新規登録365件)を完了(12/1)。登録論文総数は14,418件です。

◆ Dia Information ◆

DAA常磐の吉羽健二郎氏が令和5年度エイジレス章を受章されました

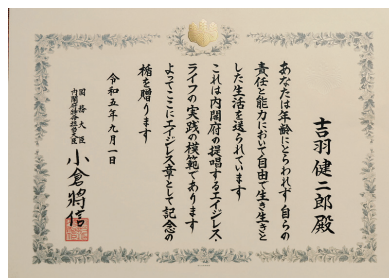
内閣府の広報・啓発活動「エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例」(※1)の令和5年度の選考結果が2023年9月8日に公表され、DAA常磐(※2)の吉羽健二郎氏が、エイジレス・ライフ実践事例に選出され、エイジレス章を受章されました。

吉羽氏は、企業退職後の2001年に有志で立ち上げた特定非営利活動法人「オハヨウ」において、理事長として「医療介護」、「社会福祉」、「企業支援」などの多彩な事業に取り組まれているほか、お住いの我孫子市でも「我孫子北まちづくり協議会」に事業部長として参画し、様々なイベントを企画・運営しています。また、有志で「我孫子駅北口美化委員会」(略称:AKB)も立ち上げ、副会長を務めるほか、永年にわたり、夫婦で写真教室(本誌の表紙写真を提供している「448 SCHOOL」)を主宰しています。こうした活動が高く評価されました。

※1 年齢にとらわれず自らの責任と能力により自由で生き生きとした生活を送っている高齢者(エイジレス・ライフ実践事例)や地域で社会参加活動を積極的に行っている高齢者のグループ等(社会参加活動事例)を広く紹介することにより、高齢者やこれから高齢期を迎える国民の参考としてもらうことをねらいとして、内閣府が実施する広報・啓発活動。令和5年度は、都道府県・指定都市・中核市及び高齢者関連団体から推薦のあったエイジレス・ライフを実践する89名、社会参加活動を行う66団体の中から、内閣府内の選考委員会において、エイジレス・ライフ実践事例60名、社会参加活動事例42団体が選出されました。



吉羽健二郎氏(左)と星野順一郎 我孫子市長(右)
(2023年10月、我孫子市長への受章報告時に撮影)



エイジレス章

※2 DAA(ダイヤ・アクティブエイジング・アソシエーション)とは、1999年にダイヤ財団が三菱グループ(賛助会員会社)各社の退職者から有志を募って発足した会員組織です。現在は、三菱グループ出身者以外も多数入会し、ダイヤ財団の支援をうけながら、会員による自主運営が行われています。DAAには現在首都圏に、地域別5、趣味別1(囲碁)の計6つの活動グループがあり、会員の皆さまはDAAの活動グループを中心に、親睦・交流活動、社会参加・社会貢献活動を通じて、いきいきとしたシニアライフを満喫しています。

発行者 公益財団法人 **ダイヤ高齡社会研究財団**

〒160-0022

東京都新宿区新宿1-34-5 VERDE VISTA 新宿御苑3F

TEL: 03-5919-1631

FAX: 03-5919-1641

E-mail: info@dia.or.jp

https://dia.or.jp

編集人 先瀬 信成

製作 芝ワーク (三菱製紙ホワイトニューVマット)

発行 2024.2.26 / No.112